

社長！正々堂々と儲けましょう！

深夜にも救急車が緊急出動してくれる。大災害時に自衛隊が来てくれる。また、日々安心して、子供を学校に行かせられる。目の前の自分の仕事に励める。そのことが可能なのは、我々が、国に「税金を払う」からこそ出来ることです。

“国防”といえ、平和主義を叫び・憲法9条を守ればいいという、単純なものではないことは、隣国の中国や北朝鮮の厳しい現実を見れば理解できます。自国の防衛は、自国がやるという世界の常識さえも正視せず、一国平和主義が蔓延している日本では、国防と言え、戦争賛美者という人が、いまだに多くいるのが現状です。

日本人は、戦後のGHQによる、巧妙な「WGIP」という洗脳プログラムに嵌められました。“東京裁判”という、戦勝者による、戦敗者を裁く、おおよそ裁判に値しない復讐劇が、その後の日本人の矜持を破壊したまま70年経ったといえます。(ケントギルバートの「まだGHQの洗脳に縛られている日本人」PHPに詳しい)

何が、本当に正しいのか、日本人とは何か、「そもそも論」に立ち返る必要があります。日本の伝統・歴史・文化・精神・自然こそ、我々が、依って立つ根本・本質・誇りのはずです。自国に誇りがもてないことが、一番の問題です。

また、少子高齢化・地方の衰退・年金問題等々、日本の将来が暗いとマスコミは、喧伝しています。我々には、知恵が無いのでしょうか？働かないで、年金を貰うことが得だと考える人ばかりでしょうか？自分の国への不満・不平しか言わない人ばかりでしょうか？

私は違うと思います。死ぬまで、働けばいいのです。手に付いた技術を、生涯、使えばいいのです。経験や判断力は、若い人に負けない年寄りがあります。ただし、強制であったり、出来ないことをやらせるのではありません。それとは全く逆で、楽しんで、喜んで、生き甲斐を持ってやることです。それが、生涯現役です。

そのためにも、若い今から鍛えて行きましょう。圧倒的な技術力・知識・経験を積みましょう。いくつも特許や実用新案を取れるほど、技を磨きましょう。商品開発をしましょう。市場開拓をしましょう。新しいことにチャレンジしましょう。体力も付けましょう。健康に留意しましょう。頭を柔らかくしておきましょう。

その一番、具体的なことは、何でしょうか？そうです！儲けることです。

お客様が喜んで下さるから、儲かるのです。世の中に、未だ無い物だから、希少価値があり、儲かるのです。役に立つから、儲かるのです。

その儲けが、回り回って、国を富まし、国を強くします。

社長、我々が先頭に立って、我社が、まず儲けて参りましょう。

儲けることで、日本を良くし、社員を幸せにし、自分も喜べるのです。



今月のポイント

より良い日本をつくることは、

我々が儲けることが前提です。